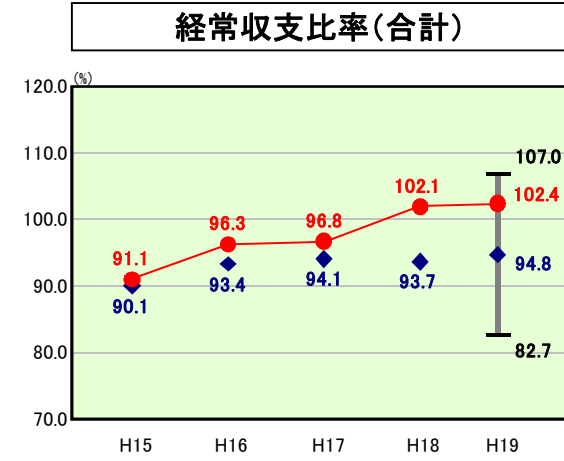


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

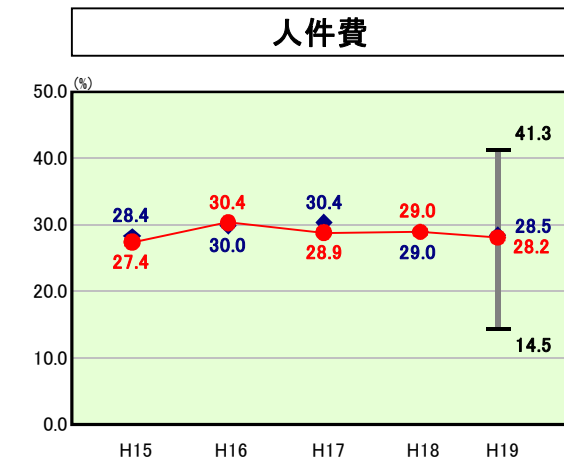
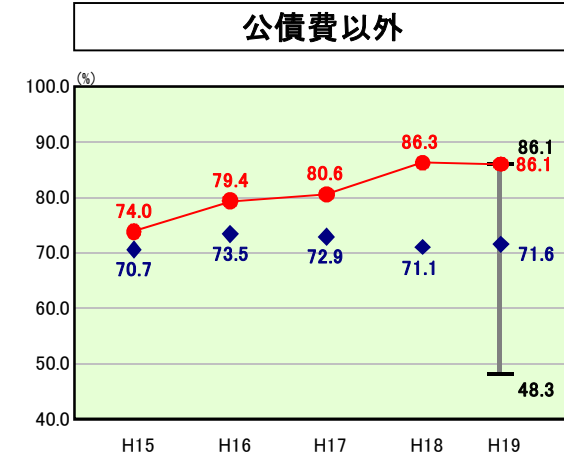
熊本県 人吉市

経常収支比率の分析

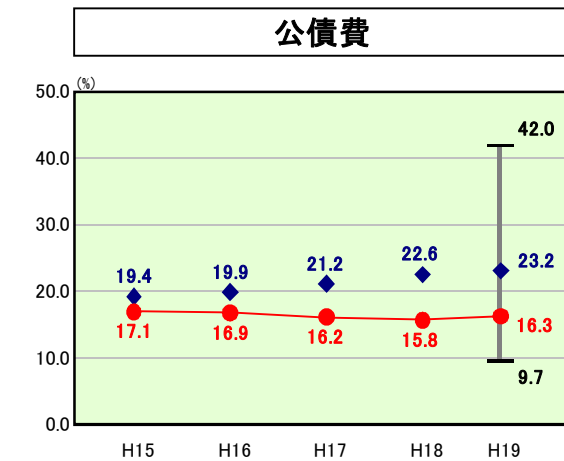
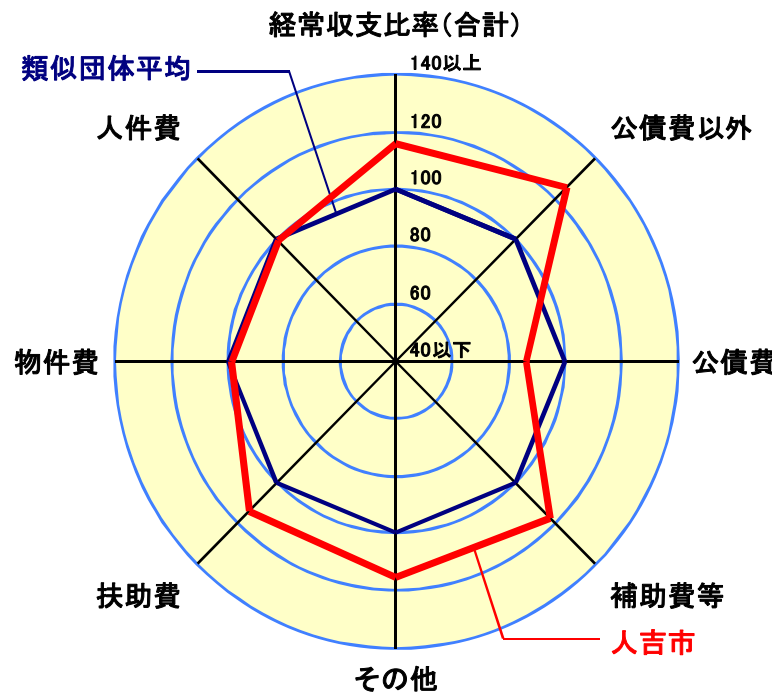


当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 L

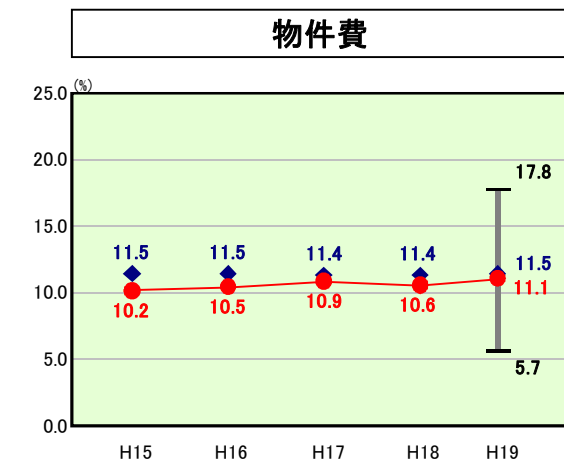
人口 36,631人(H20.3.31現在)
面積 210.55 km²
歳入総額 15,354,034千円
歳出総額 15,023,839千円



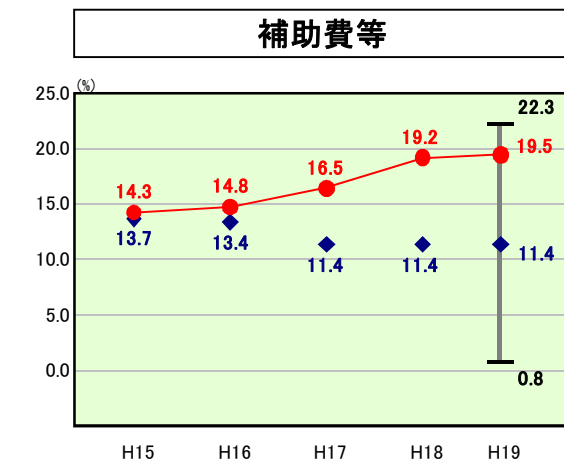
H19類似団体内順位 67/132
全国市町村平均 28.0
熊本県市町村平均 28.1



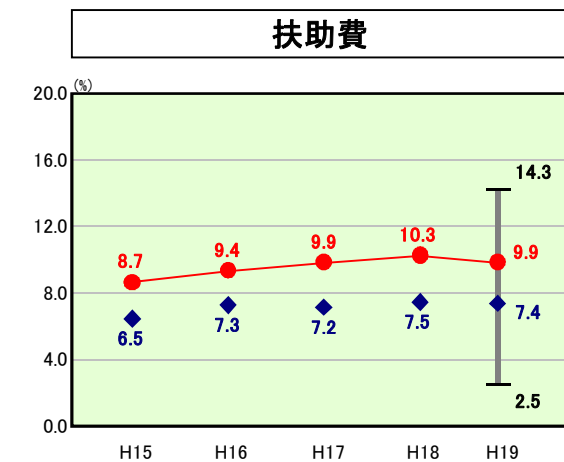
H19類似団体内順位 132/132
全国市町村平均 71.7
熊本県市町村平均 72.3



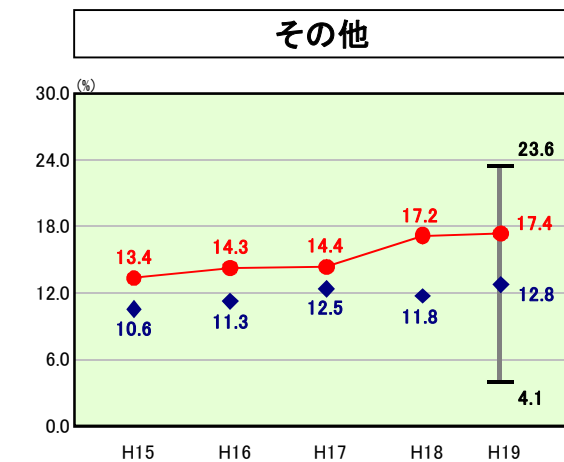
H19類似団体内順位 66/132
全国市町村平均 13.1
熊本県市町村平均 10.1



H19類似団体内順位 125/132
全国市町村平均 10.4
熊本県市町村平均 11.7



H19類似団体内順位 119/132
全国市町村平均 8.8
熊本県市町村平均 9.4



H19類似団体内順位 123/132
全国市町村平均 11.4
熊本県市町村平均 13.0

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

本市の経常収支比率は、102.4%と100%を越えており、類似団体132市中125位と非常に悪い数値となっています。もともと、本市の経常収支比率は、扶助費が高い水準で推移していることもあり、類似団体と比較して高い状況でした。それに加え、平成18年度決算から①下水道特別会計繰出金の取扱が変更になったこと②一部事務組合負担のうち、人吉・球磨広域行政組合が建設した、ごみ処理施設の公債費に対する負担金が大きく増加したことが引き続き影響し、数値の高い状況が続いています。また、歳入において法人市民税が減少したことや臨時財政対策債の発行額が減少したことなどにより、前年度と比べて数値が上昇しています。

類似団体との比較は以下のとおりとなっています。

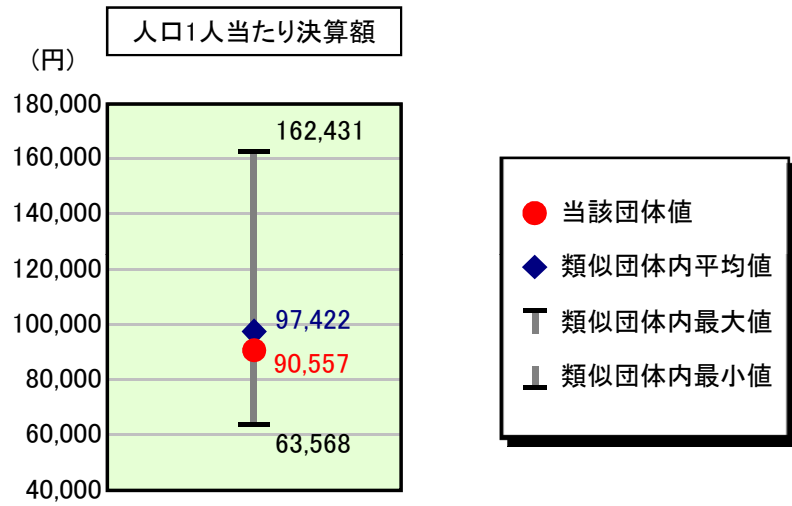
- 【人件費】28.2%で類似団体の平均値に比べ、0.3%低くなっています。
- 【物件費】11.1%で類似団体の平均値に比べ、0.4%低くなっています。
- 【扶助費】9.9%で類似団体の平均値に比べ、2.5%高くなっています。
- 【公債費】16.3%で類似団体の平均値に比べ、6.9%低くなっています。
- 【補助費等】19.5%で類似団体の平均値に比べ、8.1%高くなっています。
- 【その他】17.4%で類似団体の平均値に比べ、4.6%高くなっています。

本市の経常収支比率を押し上げている要因である、扶助費、補助費等、その他(繰出金)の歳出を圧縮することは大変難しいものがあります。

しかしながら、健全な財政運営を行うためにも、歳入では、市税等、自主財源の確保に努め、歳出では、事業の見直しを行うことで歳出の削減を図っていきます。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

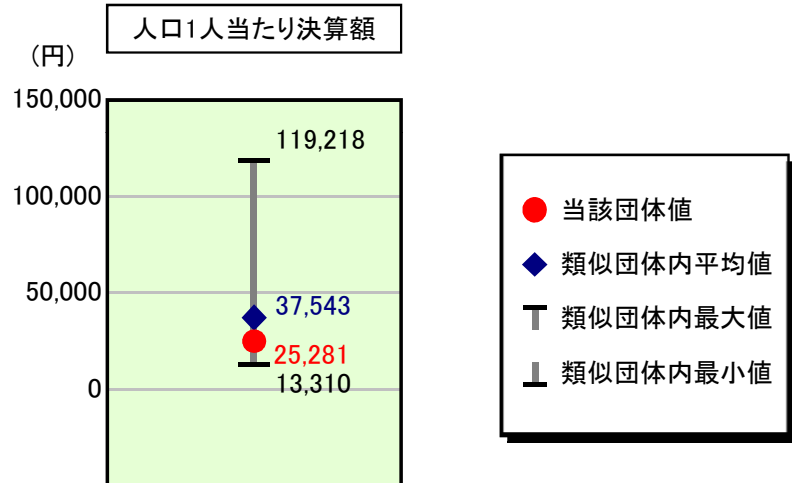
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	3,001,083	81,927	89,029	▲ 8.0
賃金(物件費)	18,612	508	4,561	▲ 88.9
一部事務組合負担金(補助費等)	500,953	13,676	9,909	38.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	465	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	191,919	5,239	3,488	50.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	95,297	2,602	1,823	42.7
▲退職金	▲ 490,667	▲ 13,395	▲ 11,853	13.0
合計	3,317,197	90,557	97,422	▲ 7.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.46	9.75	▲ 1.29
ラスパイレス指数	97.2	95.6	1.6

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

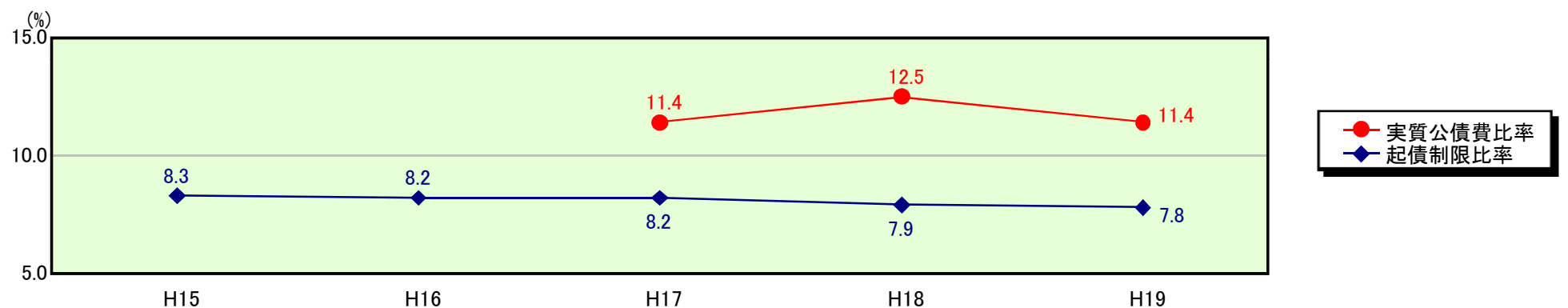


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,303,330	35,580	60,275	▲ 41.0
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	34	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	457,446	12,488	14,851	▲ 15.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	523,954	14,304	4,562	213.5
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	31,996	873	2,366	▲ 63.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	39	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,390,674	▲ 37,964	▲ 44,584	▲ 14.8
合計	926,052	25,281	37,543	▲ 32.7

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

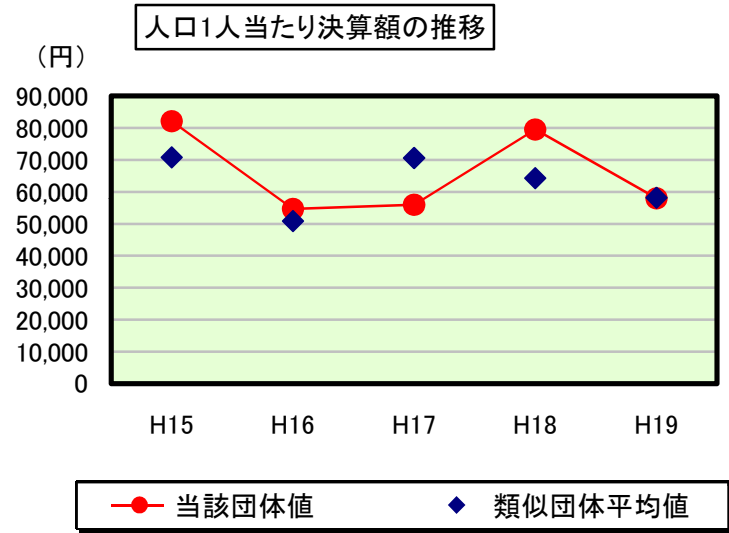
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

熊本県 人吉市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	3,134,848	82,114	9.0	70,792	▲ 6.3	15.3
うち単独分	1,925,383	50,433	▲ 16.1	40,777	▲ 3.2	▲ 12.9
H16	2,065,819	54,712	▲ 33.4	50,864	▲ 28.2	▲ 5.2
うち単独分	1,667,568	44,165	▲ 12.4	30,101	▲ 26.2	13.8
H17	2,094,112	56,016	2.4	70,563	38.7	▲ 36.3
うち単独分	1,732,228	46,336	4.9	38,225	27.0	▲ 22.1
H18	2,952,201	79,536	42.0	64,305	▲ 8.9	50.9
うち単独分	2,304,960	62,098	34.0	34,136	▲ 10.7	44.7
H19	2,124,039	57,985	▲ 27.1	58,137	▲ 9.6	▲ 17.5
うち単独分	1,558,000	42,532	▲ 31.5	29,406	▲ 13.9	▲ 17.6
過去5年間平均	2,474,204	66,073	▲ 1.4	62,932	▲ 2.9	1.5
うち単独分	1,837,628	49,113	▲ 4.2	34,529	▲ 5.4	1.2